

新型コロナウイルス感染症への対応に伴う施設の利用制限期間の変更について

花巻市では、3月19日から当面の間、「新型コロナウイルス感染拡大による市関連施設の利用制限ガイドライン」に規定するレベルを3から2へ移行しました。従いまして、矢沢振興センター及び矢沢地区社会体育館の利用制限ガイドラインは下記のようになります。

利用者の皆様には、引続き三密を避け、マスクの着用、手指の消毒や手洗いを始めとする基本的感染症対策をしっかりと講じていただきますようお願いいたします。

レベル2	利用制限内容	
	矢沢振興センター	矢沢地区社会体育館
隣接県または県内との移動が比較的多い県外の地域で感染者が継続して発生または拡大している場合 令和3年3月19日から 当面の間	<ul style="list-style-type: none"> 対象制限：市民・市内団体 開館日：制限なし（通常通り） 開館時間：制限なし（通常通り） 利用人数：人数制限あり（対人距離2m最低1m） 利用時間：2時間以内 そのほか：飲食・調理一部可 料理教室などの調理実習は可 料理教室などの実習で調理した飲食物、会議等の茶菓、弁当は可（懇談や交流を目的とする会食は不可） 	<ul style="list-style-type: none"> 対象制限：市民・市内団体 開館日：制限なし（通常通り） 開館時間：制限なし（通常通り） 利用人数：人数制限あり（対人距離2m最低1m） 利用時間：制限なし そのほか：飲食不可 （水分補給、弁当のみ可）

矢沢小学校

教職員転出のお知らせ（敬称略）

矢沢中学校

職種	ご氏名	転出先
校長	小島 正弘	盛岡市立大新小学校
教諭	小原 睦子	定年退職 (再任用で花巻市立南城小学校)
教諭	佐藤 美保子	定年退職
教諭	城戸 牧子	花巻市立桜台小学校
教諭	館澤 由香里	滝沢市立鶴飼小学校
教諭	高野橋 千晶	北上市立和賀東小学校
教諭	村上 彩香	大船渡市立猪川小学校
教諭	一条 友希	退職
講師	蛭名 勝利	花巻市立東和小学校
講師	高橋 智美	退職
校務員	上山 洋司	退職
スクールサポートスタッフ		
	小田島 茂子	退職

職種	ご氏名	転出先
校長	佐藤 智一	紫波町立紫波第三中学校
教諭	川村 敦	紫波町立紫波第一中学校
教諭	菊池 早織	遠野市立遠野中学校
教諭	高橋 貞子	盛岡市見前中学校
教諭	瀬川 貴美子	花巻市立石鳥谷中学校
主任主査	石川 力行	岩手町立沼宮内小学校
校務員	佐々木 博義	退職
校務員	藤井 清継	花巻市立湯口中学校
中学サポーター		
	米澤 弥生	退職
緊急スクールサポートスタッフ		
	谷川 美里	退職

ありがとうございました。



◎ 楽しみながら英語と親しみましょう！ キッズわくわくスクール ◎

春休みに入った3月25日、花巻市社会福祉協議会矢沢支部では矢沢振興センターにおいて、矢沢学童クラブの皆さんが、運営委員の協力をいただき、

英語による自己紹介や体操などを通じて英語に親しみました。また、菓子掬いなどのゲームも行われ、参加した30人ほどの皆さんは約1時間40分にわたり、楽しいひと時を過ごしました。将来英語を簡単にあやつる人材が何人もここからきっと出ることでしょう。



講師のスーザン・タート先生
挨拶する福盛田弘支部長



利用が多く広い駐車場に砂利敷き・転圧 (伊藤舗装)

移動図書館車巡回日程(ぎんが号・あやめ号)

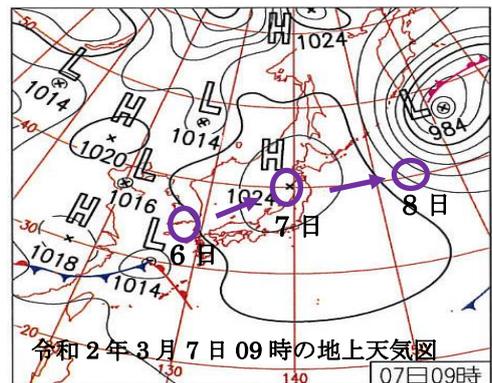
4/7 (水)	高木団地会館	13:30~13:50
4/14 (水)	高木観音	09:20~09:50
4/14 (水)	振興センター	10:05~10:35
4/14 (水)	やさわこども園	10:50~11:20
4/28 (水)	幸田公民館	09:30~09:45
4/28 (水)	平良木公民館	14:10~14:20

【事務局員のつぶやき】(春の天気は変り易い!?)

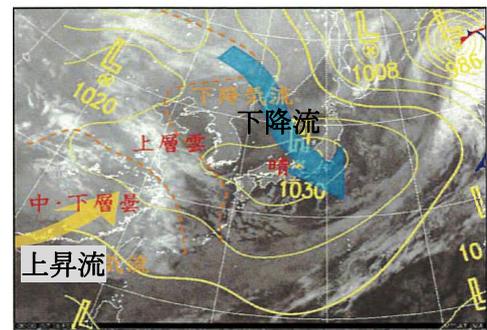
冬の天気が比較的安定(冬型が持続)しているのに比べ、春は短い周期で天気が変わります。冬の間、冷たい北西の季節風を周期的に吹かせていたシベリア高気圧は、春になるとその勢力を弱め、代わって移動性高気圧や低気圧が、日本付近を交互に通過するようになり、天気は長続きしなくなります。ここではその主人公の一つである移動性高気圧についてのお話です。中緯度地帯でみられる移動性高気圧は、春と秋に多く特に春、4月が一番多く現れています。日本を含む中緯度地帯の上空では、ほぼ西から東に向かって吹くいわゆる偏西風が南北にうねりながら流れています。その北の端を気圧の尾根、南の端を気圧の谷と言っています。移動性高気圧は、上空の気圧の尾根から谷に向かう部分(尾根の東側)にあり、気温から見ると高気圧の東半分は冷たい高気圧、西半分は暖かい高気圧という性格を持つものが多くなっています。移動性高気圧の規模は、平均して直径が約1,000kmで、時速40kmぐらいで東に移動しています。つまり長期間にわたり停滞するシベリア高気圧や小笠原高気圧とは性質が大きく違ってきます。一般的なお話ですが、2月下旬ごろからシベリア高気圧は次第に勢力を弱め、3月に入ると気温は上がり始めて、1日の寒暖の差が大きくなります。大陸から移動性高気圧がやって来るようになり、3月も半ばを過ぎると気温も急激に上昇しますが、3月いっぱいぐらいはまだ一時的に冬型の気圧配置に戻って、冷たい季節風が吹く寒い日もあります。4月に入ると、移動性高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過するので、短い周期で天気は変わり、降水量が多くなります。このため「春に三日の晴れ無し」とも言われています。ちなみに、移動性高気圧のコースによって、その地方の天気現象も違ってきますので、右下の図を参照願います。

いづれにしても近年は、季節外れの現象がしばしば現れます。最新の情報で対応をお願い致します。

昨年3月の移動性高気圧の事例



○印は移動性高気圧の中心位置
盛岡の天気: 6日曇りのち時々晴れ一時雨
7日晴れ 8日曇り時々晴れ



地上天気図と衛星雲画像の事例



移動性高気圧の主なコース